

kaneka カガクでネガイをカナエル会社

2024年3月期 決算説明資料

2024年5月14日(火)

株式会社 **力ネカ**

INDEX

業績概要	01
全社業績についてのRemarks	03
事業概況	09
貸借対照表	13
キャッシュ・フロー計算書	14
設備投資額・減価償却費/研究開発費	15
株主還元	16
連結業績予想などの将来予測情報	17

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績概要

(単位:億円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減(対前年同期比)	
			金額	%
売上高	7,558	7,623	65	0.9%
営業利益	351	326	△ 25	△ 7.1%
経常利益	324	292	△ 32	△ 9.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	230	232	2	0.9%
営業利益率	4.6%	4.3%		
1株当たり当期純利益	349.59円	357.90円		
1株当たり配当金	110.00円	110.00円		
ROE(自己資本当期純利益率)	5.7%	5.3%		

2024年2月8日開示 業績予想 <通期>	対業績予想 <達成率>
7,660	99.5%
320	101.8%
287	101.8%
230	101.0%

為替・原料価格

期中平均レート(米ドル)	135.5円	144.6円
期中平均レート(ユーロ)	141.0円	156.8円
国産ナフサ	76,625円	69,225円

世界経済の状況 一分断と経済のVolatility

- コロナ禍は終焉するも、世界経済は方向感のないVolatileな一年。景気の先行きが見通せない
- 金融政策の混乱、米中摩擦、中国経済の低迷等が継続

当社グループの業績 一増収減益、下期大幅増益

セグメント別 売上高・営業利益 四半期別

(単位:億円)

	売上高										増減(対前年同期比)	
	2023年3月期					2024年3月期						
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度累計	金額	%
Material SU	889	840	778	831	3,339	777	788	814	850	3,229	△110	△3.3%
Quality of Life SU	450	422	438	418	1,728	409	439	466	448	1,762	34	2.0%
Health Care SU	166	174	187	181	708	177	184	172	215	749	41	5.7%
Nutrition SU	419	441	460	454	1,773	460	460	490	461	1,872	98	5.6%
その他	3	2	2	3	11	4	2	3	3	12	1	9.7%
計	1,927	1,879	1,865	1,887	7,558	1,827	1,874	1,946	1,976	7,623	65	0.9%

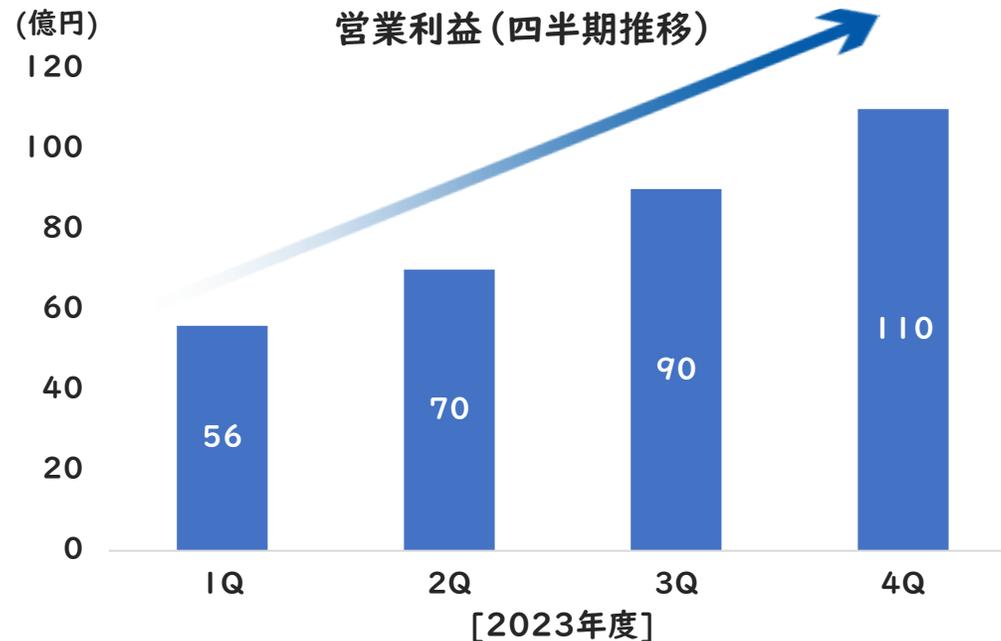
	営業利益										増減(対前年同期比)	
	2023年3月期					2024年3月期						
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年度累計	金額	%
Material SU	108	79	38	50	274	55	66	70	84	275	0	0.2%
Quality of Life SU	46	41	44	31	161	29	42	47	36	154	△8	△4.8%
Health Care SU	39	37	45	37	157	30	29	25	46	129	△27	△17.5%
Nutrition SU	8	13	23	32	76	23	23	38	37	121	45	59.2%
その他	2	1	1	2	6	3	1	2	1	7	1	20.4%
調整額	△80	△85	△82	△76	△323	△84	△91	△91	△94	△360	△36	-
計	122	86	68	75	351	56	70	90	110	326	△25	△7.1%

※SU: Solutions Unit

全社業績についてのRemarks①-1

急ピッチな業績の回復

- 営業利益が1Q (56億円) を底に、2Q (70億円)、3Q (90億円)、4Q (110億円) と期を追うごとに回復
- 欧米の建築需要低迷やエレクトロニクス市場の在庫調整継続も、下期に急ピッチで収益回復
- 上期はVolatileな需要変動を主因に低迷、下期には各SVが強いモメンタムを発揮
- 4Qは、MOD・MS・E&Iなど海外事業型SVや、ユニークなニッチ技術を生かしたNutritionが貢献
- Medicalは順調に拡大、Vinyl・Foamも最悪期を脱した



全社業績についてのRemarks①-2

先端事業でのポートフォリオ変革の推進、及びコア事業の健闘により、
上・下期比較、今期と前期の下・下期比較において、大幅な増益を達成

○今期営業利益 上・下期比較

(単位:億円)

	営業利益				増減 (対上期比) 金額
	2023年 3月期		2024年 3月期		
	上期実績	下期実績	上期実績	下期実績	
Material SU	187	87	121	154	32
Quality of Life SU	87	75	71	83	12
Health Care SU	75	82	59	70	12
Nutrition SU	21	55	46	75	29
調整額・その他	△ 162	△ 156	△ 171	△ 182	△ 11
計	208	143	126	200	74

※SU: Solutions Unit



○下期営業利益 対前年下期比較

(単位:億円)

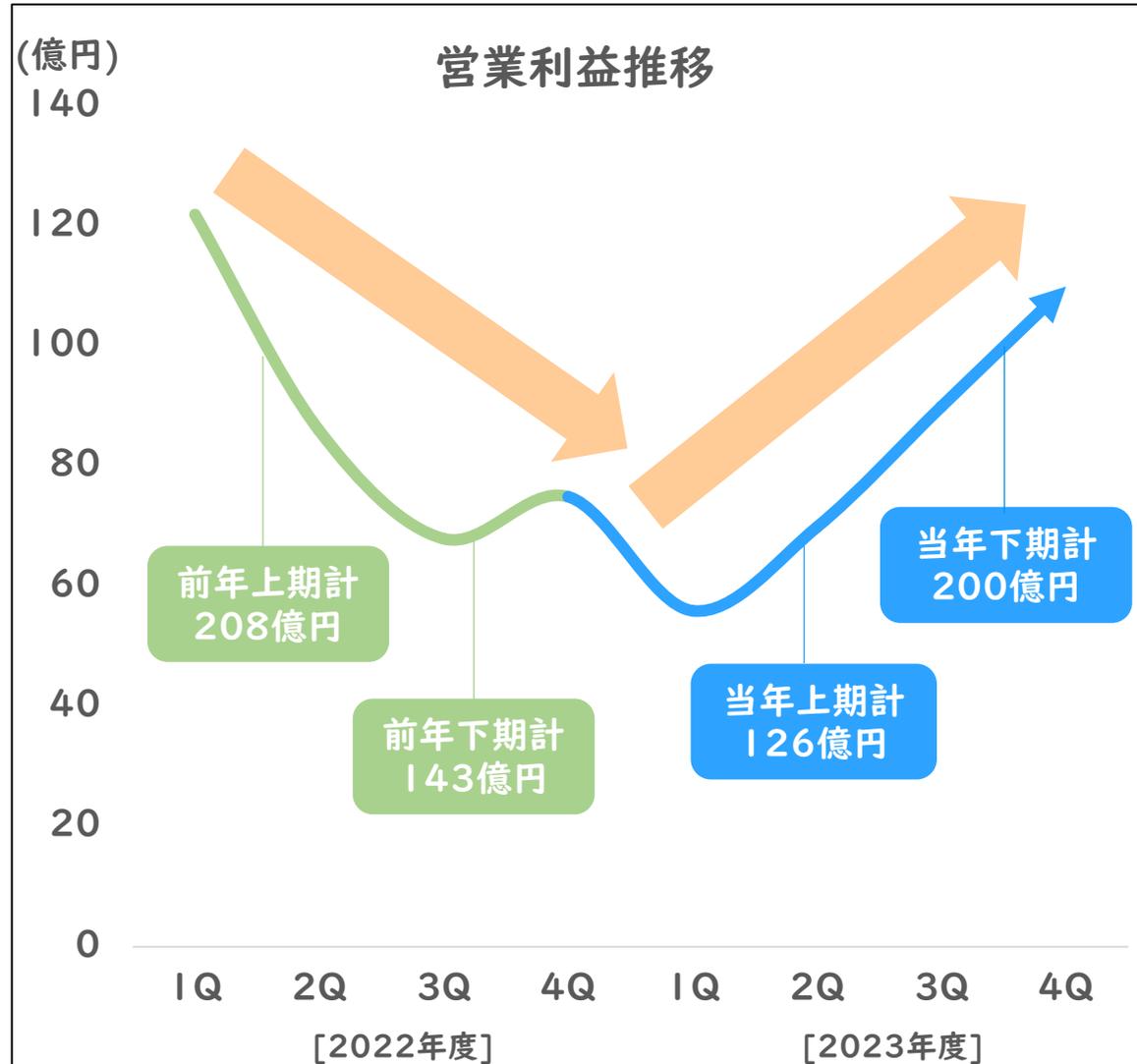
	営業利益		
	2023年 3月期	2024年 3月期	増減 (対前年比) 金額
	下期実績	下期実績	金額
Material SU	87	154	66
Quality of Life SU	75	83	8
Health Care SU	82	70	△ 11
Nutrition SU	55	75	20
調整額・その他	△ 156	△ 182	△ 26
計	143	200	57

※SU: Solutions Unit



全社業績についてのRemarks①-3

2023年下期より業績はモメンタムを取り戻している



全社業績についてのRemarks②

ポートフォリオ変革をドライブする先端事業

- Medical・Supplement・MS・E&I・PV：業績は着実に伸長
 - 差別力ある特異な技術やオープンイノベーションの取り組みを強化
- Medical：業績は順調に拡大
 - M&A・技術提携などオープンイノベーションに着手
 - 米国・中国・アジアなど、海外でのR2Bの強化・販売体制の再構築に注力
- Pharma：需要調整が続くも、4Qは大幅に回復
 - バイオCDMO・低分子医薬：顧客との共同開発が伸長
 - 国内外市場での更なる大型案件獲得を積極的に推進



全社業績についてのRemarks③

コア事業の健闘

- MOD: 過剰な市場在庫・需給バランスの悪化は終息
- Vinyl・Foam: スケールあるグローバルニッチ市場の創出活動に注力
- Fiber: アフリカ諸国のインフレ長期化・通貨安により、4Qは需要調整が継続
 - 製品の高機能化、特徴ある繊維を提案
 - ナイジェリアを軸に、他地域での販売を強化
- Foods: 収益性が大幅向上
 - 高付加価値品への販売シフトとスプレッドの拡大が進展
 - 乳製品などの新規事業がポートフォリオ変革をリード
 - 高水準の業績を維持する計画

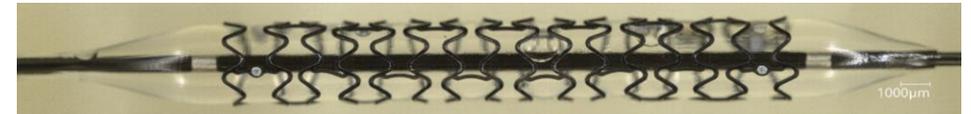
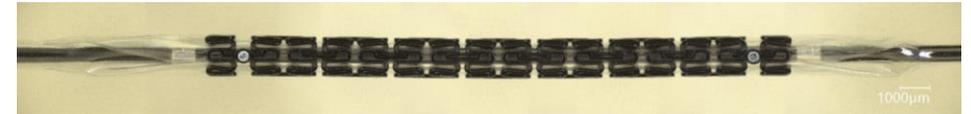


全社業績についてのRemarks④

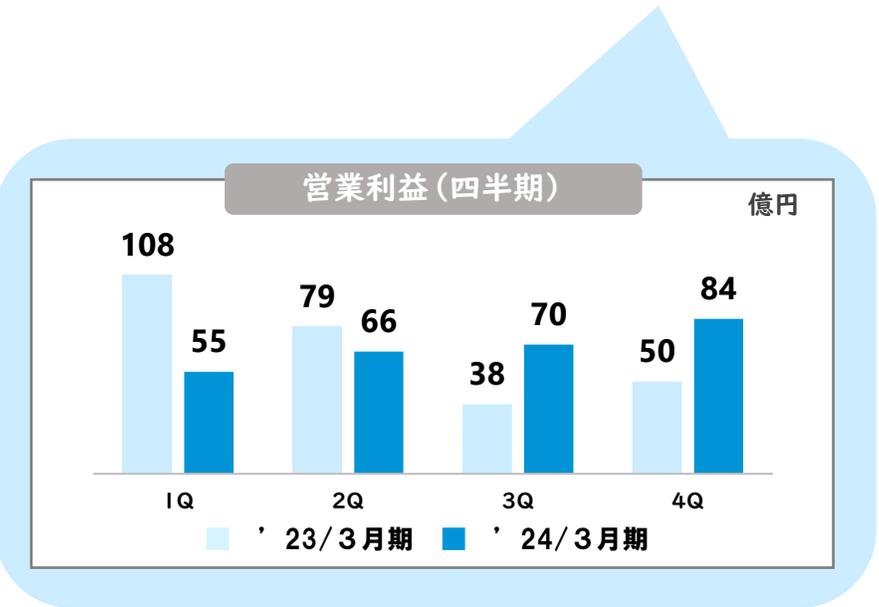
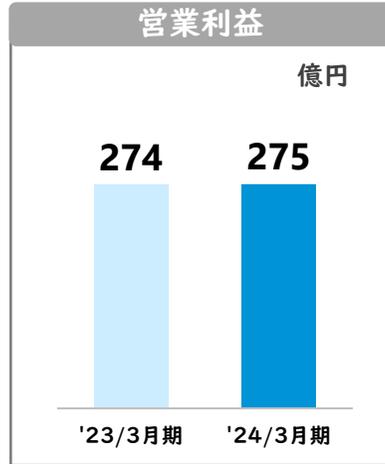
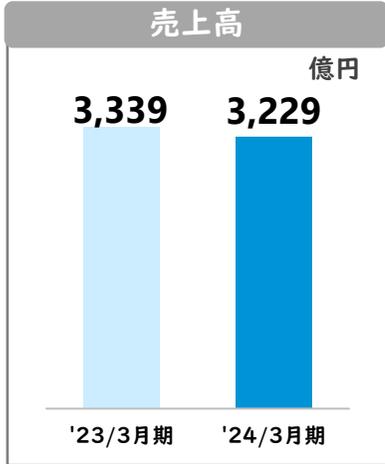
成長に向けた投資計画の進捗

- Medical: 北海道・苫東の新工場が今期2Qに稼働予定
 - カテーテル製品のラインアップが拡充
 - ① 生分解性マグネシウムステント技術の取込み
 - ② 血栓回収用ステントの輸入販売
- カネカユーロジェンテック (Pharma): 遺伝子治療・がん治療薬用で高成長が期待されるmRNA生産設備の建設は計画通り
- カネカ生分解性バイオポリマー「Green Planet」: 量産実証プラントの建設は順調
- MS: ベルギーでの能力増強は今春計画通り完成予定
- 高砂の石炭ボイラーを廃止する大型設備投資を決定

○生体吸収性ステント(上:拡張前、下:拡張後)



事業概況



(Material Solutions Unit)

上期は減益、下期は需給回復により大幅増益
 年間は前年並の水準に回復

Vinyls and Chlor-Alkali

- 塩ビ・か性ソーダ：アジア市況の下落影響継続も、3Qから業績が回復

Performance Polymers (MOD)

- 3Qから全拠点で需要が回復し、下期は対前年比で大幅増益
- 事業競争力強化の取り組みが着実に進み、収益力が向上

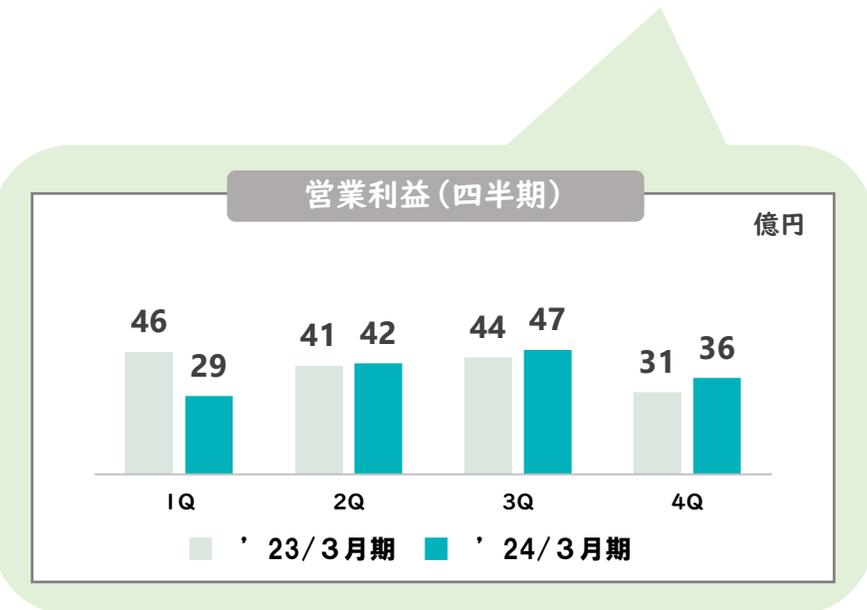
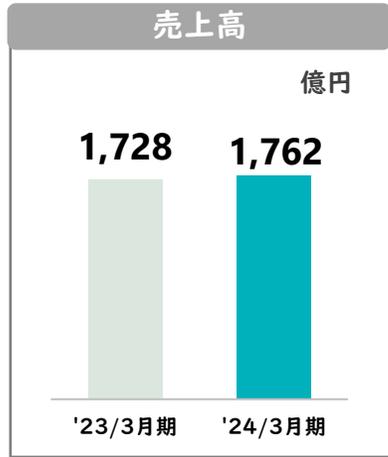
Performance Polymers (MS)

- 他にはないユニークな機能特性が評価され、販売が堅調に推移
- 今春完工するベルギーの生産能力増強を活かし、業容拡大をめざす

Green Planet

- 大手ブランドホルダーとの共同開発が進展
- 新たなアプリケーションでの採用案件が増加

事業概況



(Quality of Life Solutions Unit)

Foam、E&I、PVは増収増益、Fiberは需給調整が継続

Foam & Residential Techs

- スプレッドが改善し、増収増益
- 発泡ポリオレフィン：自動車分野の販売が回復。EV用途での採用も拡大

PV & Energy management

- 国内で戸建て住宅向け高効率太陽電池の販売が堅調に推移
- 壁・窓が発電するZEB需要を喚起すべく、大成建設と共同販売会社を設立

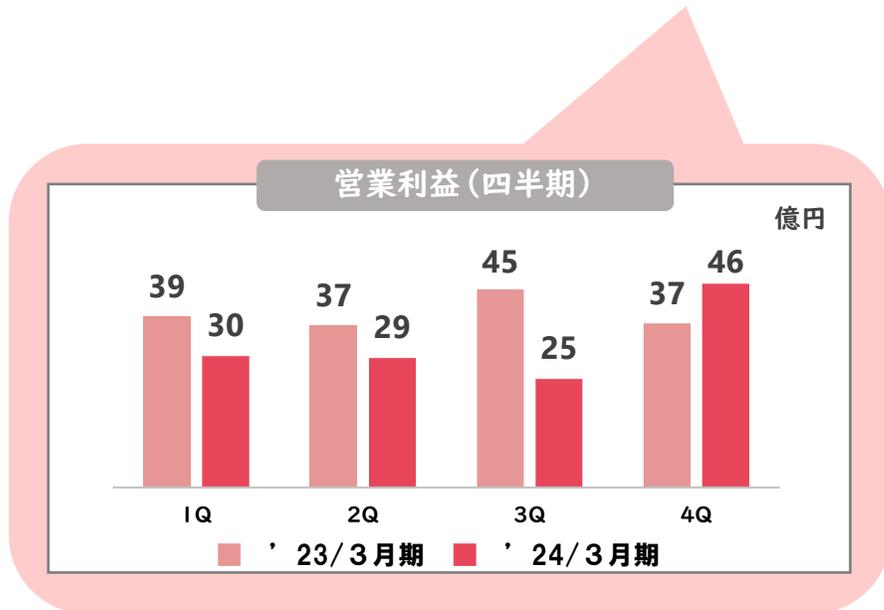
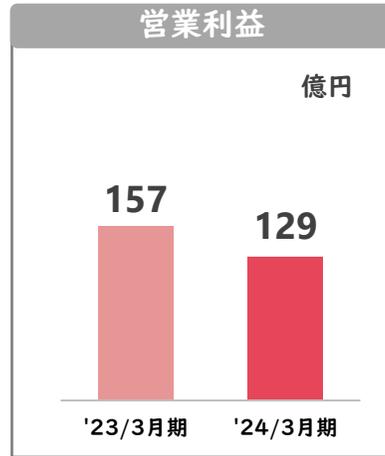
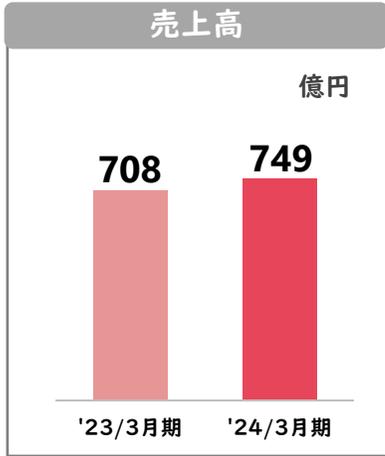
E & I Technology

- スマートフォンの生産調整に伴い、上期はポリイミド出荷低調も、3Q以降は中国市場を中心に需要回復
- 大型TV向けアクリル樹脂：需要調整があったものの、4Q以降に回復

Performance Fibers

- アフリカ諸国のインフレ及び通貨安の影響が大きく需要が低迷
- マーケティング戦略強化・高機能新製品投入により、末端需要を喚起

事業概況



(Health Care Solutions Unit)

Medicalは業容拡大、Pharmaは3Qまで出荷調整の影響継続

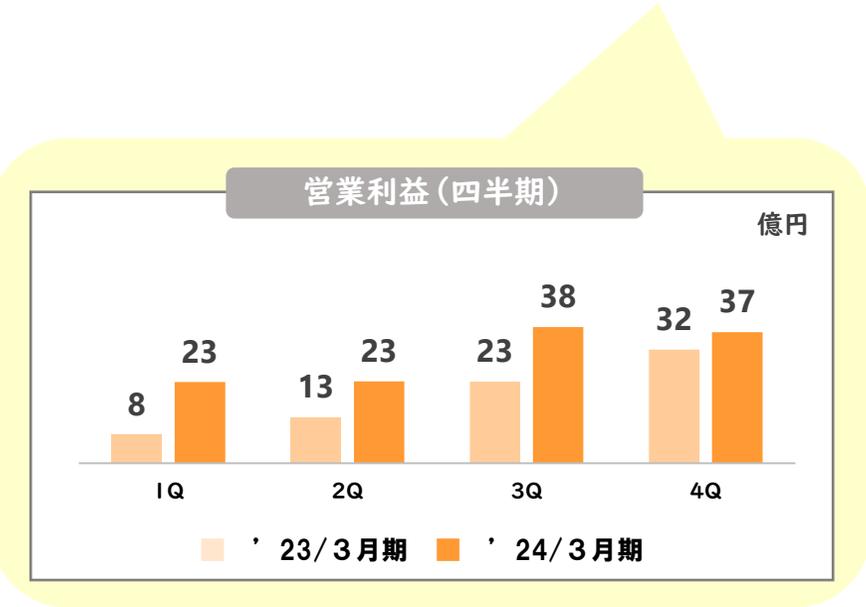
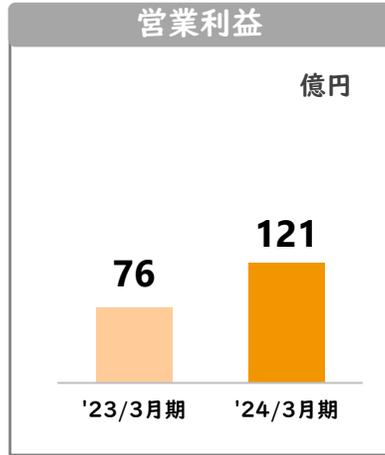
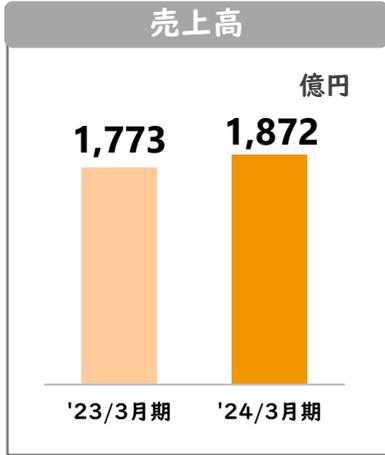
Medical

- 血液浄化器：北海道の新工場が稼働予定
- Open Innovationを推進

Pharma

- 低分子・バイオ医薬品：需要調整が想定以上に継続も、4Q以降需要は回復
- mRNA：生産体制を強化し、遺伝子疾患やがん治療薬用での採用に注力

事業概況



(Nutrition Solutions Unit)

Foods・Supplementともに好調を維持し、大幅な増収増益

Supplemental Nutrition

- 還元型Q10：米国の販売は堅調、アジア・オセアニアでの販売も伸長
- 乳酸菌事業：多様な新製品の上市・生産基盤強化により、最大市場の米国での販売拡大に注力

Foods & Agris

- スプレッドの改善が進み、収益が大幅に伸長
- 有機乳製品をはじめ付加価値の高い「B2C」事業を積極的に推進

貸借対照表

(単位:億円)

		2023年3月末	2024年3月末	増減
資産の部	流動資産	3,970	4,289	319
	固定資産 等	3,857	4,413	557
	資産合計	7,826	8,702	876
負債の部	有利子負債	1,593	1,748	155
	その他	1,869	2,210	341
	負債合計	3,462	3,958	496
純資産の部	自己資本	4,174	4,535	361
	非支配株主持分 他	191	209	19
	純資産合計	4,364	4,744	380
負債、純資産 合計		7,826	8,702	876
自己資本比率		53.3%	52.1%	
D/Eレシオ		0.38	0.39	
1株当たり純資産		6,431.63円	7,068.91円	

- 総資産は、設備投資の拡大による固定資産増加に加え、保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加、円安による海外グループ会社の資産額増加等により増加
- 負債は、借入金の増加及び社債の発行等により増加
- 純資産は、利益剰余金の増加に加え、円安による為替換算調整勘定の増加、保有株式の時価上昇による
 その他有価証券評価差額金の増加等により増加
- 自己資本比率は52.1%

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2023年3月期	2024年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	287	619
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 420	△ 588
フリー・キャッシュ・フロー	△ 133	31
財務活動によるキャッシュ・フロー	124	△ 15
現金及び現金同等物の増減額 (含 換算差額、連結の範囲の変更に伴う増減)	△ 0	26
現金及び現金同等物の期末残高	407	433

- 営業CFは、税金等調整前当期純利益や減価償却費等により619億円の収入
- 投資CFは、有形固定資産の取得等により588億円の支出
- 財務CFは、社債発行による収入の一方、配当金の支払や自己株式の取得により15億円の支出
- 現金及び現金同等物の期末残高は433億円

設備投資額・減価償却費 / 研究開発費

(単位:億円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減
設備投資額	443	692	248
減価償却費	392	405	13
研究開発費	327	354	27
研究開発費 売上高比率	4.3%	4.6%	



Green Planet
15,000+ 実証設備



Medical
北海道 血液浄化器新工場建設



Kaneka Belgium N.V.
MS能力増強

株主還元

・自己株式取得について

➤ 上限80億円の自己株式を取得する（2024年2月8日公表） 期間：2024年2～6月

【2023年度（実績）】 自己株式取得額 28億円（取得株数：76万株）

【2024年度（計画）】 自己株式取得を計画通り遂行（取得予定額：約50億円）

・配当について

【2023年度（実績）】 年間配当 110円/株
配当性向30.7%、総還元性向42.8%

【2024年度（計画）】 増配を計画
配当性向30%以上、年間配当120円/株

連結業績予想などの将来予測情報

カネカのパーパス経営

- 「カガクでネガイをカナエル会社ーカネカ」が目指すパーパス経営
- 環境・エネルギー、食糧、健康（よりよく生きる）の危機の三つをドメインとし、最適なソリューションを提供

ハイブリッド経営

- イノベーション→ 「違ったやり方でコトを運ぶ新結合」 異質なもののどうしを、異質な事業領域で、新しく組み合わせる
- 保有する多種多様な異種技術による驚きの組み合わせで、独創的な価値あるソリューションを創り出す

R2B+P ResearchからBusinessへ

- 研究開発とビジネスとの結合を進め、ResearchからBusinessへの流れを一層加速
- 「R2B」と「P」（モノづくり）が一体となった取り組みを強化

ライフサイエンスへの重点シフト

- 化学で「地球生命」という大きな「いのち」を健康にする
- ライフサイエンス領域での「R2B」に挑戦することで、ポートフォリオ変革をドライブする

連結業績予想などの将来予測情報

Think Global, Act Local

- ソリューションを世界に届け人々の命や社会課題を解決する。文化の違いを乗り越えた現地発信（グローバル）にフォーカス。グローバルに存在感のある企業をめざす
- M&A、技術・業務提携、Open Innovationを積極的に推進。グローバルでの事業構造変革と飛躍的成長に繋げる

Diversity 新たな価値の創造と女性活躍

- 年齢・性別・国籍・人種を問わず、多様な個性と多彩な視点から新たな発想が生まれ、カネカならではの!と世界を驚かせるユニークな価値を発信し続ける
- 『カネカIonI』を、新たなステージ『カネカIonIX』へ進化させ、個人の成長と組織の成果を向上

カーボンニュートラル・DXの取り組み

- 自家発電設備の燃料転換やプロセス革新によるエネルギー消費量削減に着手
- DXの取り組みを強化し、R2B+Pを通じた価値創出を大幅に加速。最先端技術を取り入れた生産プラントに進化させ、未来の製造現場を構築

連結業績予想などの将来予測情報

(単位:億円)

	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減	
			金額	%
売上高	7,623	7,900	277	3.6%
営業利益	326	380	54	16.6%
経常利益	292	340	48	16.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	232	245	13	5.5%
営業利益率	4.3%	4.8%		
1株当たり当期純利益	357.90円	388.18円		
ROE(自己資本当期純利益率)	5.3%	5.4%		
為替・原料価格				
期中平均レート(米ドル)	144.6円	140.0円		
期中平均レート(ユーロ)	156.8円	155.0円		
国産ナフサ	69,225円	65,000円		

- 世界のインフレは鈍化する見通しも、世界経済の成長に向けた道筋は不透明
- 世界経済のVolatilityと経営環境の不透明な状況が継続するも、
ライフサイエンスや先端事業に戦略的に経営資源を投入し、新規事業の社会実装に注力

連結業績予想などの将来予測情報（セグメント別・年間比較）

（単位：億円）

	売上高				営業利益			
	2024年3月期 （実績）	2025年3月期 （予想）	増減		2024年3月期 （実績）	2025年3月期 （予想）	増減	
			金額	%			金額	%
Material SU	3,229	3,250	21	0.6%	275	280	5	1.8%
Quality of Life SU	1,762	1,870	108	6.1%	154	175	21	13.9%
Health Care SU	749	890	141	18.9%	129	160	31	23.6%
Nutrition SU	1,872	1,880	8	0.4%	121	130	9	7.6%
その他	12	10	△ 2	△ 15.1%	7	5	△ 2	△ 25.1%
調整額	-	-	-	-	△ 360	△ 370	△ 10	-
計	7,623	7,900	277	3.6%	326	380	54	16.6%

※SU: Solutions Unit

- Health Care・Nutritionが健康志向を強める時代ニーズを取り込み、成長を牽引
- E&I、PVをはじめとする先端事業は、R2Bの成果が加速
- MOD・MSは、新しい成果の刈り取りが開始
- Vinyl・Foam・Fiberは、確かな足取りで全社業績を支え、安定収益の見通し

< お問い合わせ >

(株)カネカ IR・広報 (Investors & Public Relations) 部

 **03-5574-8090**